

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月13日

【四半期会計期間】 第91期第3四半期
(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 船越義和

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第90期 第3四半期 連結累計期間	第91期 第3四半期 連結累計期間	第90期
会計期間			
売上高 (千円)	15,242,226	15,413,163	19,760,597
経常利益 (千円)	1,056,170	951,000	1,143,648
四半期(当期)純利益 (千円)	654,917	563,511	716,825
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	837,912	794,471	1,234,393
純資産額 (千円)	13,803,128	14,827,733	14,308,686
総資産額 (千円)	19,380,465	20,938,287	20,023,717
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	24.41	20.96	26.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	69.8	68.9	69.3

回次	第90期 第3四半期 連結会計期間	第91期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.29	6.90

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感から、円安・株高が進み、景気回復に広がりが見られました。しかしながら、本年4月からの消費税増税により、個人消費低迷などの景気への悪影響が懸念されております。

このような環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。また、タイのイヌリン製造子会社において、本稼働に向けた工場建設に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,413百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益830百万円（同14.7%減）、経常利益951百万円（同10.0%減）となり、特別損益として投資有価証券売却益11百万円、投資有価証券評価損3百万円などを計上した結果、四半期純利益は563百万円（同14.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖事業

精糖事業の業績は、売上高10,272百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益950百万円（同10.9%減）となりました。売上高は、販売価格が下落したものの、菓子類、パン類及び飲料向けでグラニュー糖や液糖を中心に大手ユーザー向けの販売が順調に推移し、販売数量が増加したことにより増収となりました。損益面では、販売価格の下落や物流費等の販売費の増加、エネルギーコストの上昇等により減益となりました。

機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高4,690百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益14百万円（同72.0%減）となりました。売上高は、機能性食品素材「イヌリン」が低調な荷動きにより販売数量減となったものの、連結子会社ユニテックフーズ(株)における新規取引先の増加や拡販効果により増収となりました。損益面では、各部門で製造コストの削減に努めたものの、現在、工場建設中の連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.における先行費用の発生等により減益となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高450百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益392百万円（同0.0%減）となりました。小規模賃貸住宅の稼働率が低下したことにより減収となりましたが、安定収益に貢献いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4.6%増加し、20,938百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ6.7%減少し、8,092百万円となりました。これは主に売上債権が増加したものの、現金及び預金、棚卸資産が減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ13.2%増加し、12,845百万円となりました。これは主に建設仮勘定の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ10.3%減少し、3,332百万円となりました。これは主に買掛金の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ39.0%増加し、2,777百万円となりました。これは主に長期借入金の増加等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.6%増加し、14,827百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、35百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第3四半期連結累計期間において、著しい変更があったものは、次のとおりであります。

連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., LTD.のタイ国ラチャブリ県における機能性食品素材「イヌリン」の製造工場の建設については、平成24年8月着手、平成25年9月の完成を予定しておりましたが、工場建設の進捗が遅れているため、完成予定時期を平成26年2月に変更しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は1,000株 あります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年12月31日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,864,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,442,000	26,442	
単元未満株式	普通株式 442,200		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		26,442	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,864,000		2,864,000	9.62

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,291,486	1,873,412
受取手形及び売掛金	² 1,993,693	² 2,550,334
有価証券	322,085	322,095
商品及び製品	1,469,940	1,430,621
仕掛品	162,901	123,314
原材料及び貯蔵品	1,246,646	677,826
その他	1,191,729	1,118,567
貸倒引当金	2,911	3,743
流動資産合計	8,675,571	8,092,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	686,222	693,746
機械装置及び運搬具(純額)	193,074	165,058
土地	2,048,834	2,048,834
建設仮勘定	623,883	1,613,115
その他(純額)	60,463	65,881
有形固定資産合計	3,612,479	4,586,637
無形固定資産		
のれん	793,787	712,795
その他	96,618	97,391
無形固定資産合計	890,406	810,186
投資その他の資産		
投資有価証券	4,671,323	5,254,485
関係会社長期貸付金	1,962,552	1,982,752
その他	281,637	282,101
貸倒引当金	70,252	70,304
投資その他の資産合計	6,845,260	7,449,034
固定資産合計	11,348,146	12,845,859
資産合計	20,023,717	20,938,287

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,269,306	1,098,139
短期借入金	1,261,196	1,172,696
未払法人税等	207,760	183,886
賞与引当金	120,180	60,673
役員賞与引当金	9,830	7,100
その他	848,824	810,172
流動負債合計	3,717,097	3,332,668
固定負債		
長期借入金	896,803	1,545,459
退職給付引当金	260,485	193,725
役員退職慰労引当金	164,893	176,364
資産除去債務	53,967	66,448
その他	621,784	795,888
固定負債合計	1,997,933	2,777,886
負債合計	5,715,031	6,110,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	9,691,308	9,985,971
自己株式	706,124	712,701
株主資本合計	13,039,815	13,327,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	759,331	1,007,229
為替換算調整勘定	80,800	82,915
その他の包括利益累計額合計	840,131	1,090,145
少数株主持分	428,739	409,685
純資産合計	14,308,686	14,827,733
負債純資産合計	20,023,717	20,938,287

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	15,242,226	15,413,163
売上原価	11,759,335	12,029,060
売上総利益	3,482,890	3,384,102
販売費及び一般管理費	2,508,359	2,553,123
営業利益	974,531	830,979
営業外収益		
受取利息	38,028	35,613
受取配当金	45,444	47,619
持分法による投資利益	-	34,894
その他	23,286	20,126
営業外収益合計	106,760	138,254
営業外費用		
支払利息	20,716	16,134
持分法による投資損失	2,155	-
その他	2,248	2,099
営業外費用合計	25,120	18,233
経常利益	1,056,170	951,000
特別利益		
投資有価証券売却益	-	11,540
特別利益合計	-	11,540
特別損失		
固定資産除却損	4,841	2,091
投資有価証券償還損	5,455	-
投資有価証券評価損	2,438	3,739
特別損失合計	12,735	5,830
税金等調整前四半期純利益	1,043,435	956,710
法人税、住民税及び事業税	343,027	362,483
法人税等調整額	48,598	49,709
法人税等合計	391,626	412,192
少数株主損益調整前四半期純利益	651,809	544,517
少数株主損失()	3,107	18,993
四半期純利益	654,917	563,511

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	651,809	544,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121,686	247,898
繰延ヘッジ損益	1,283	-
為替換算調整勘定	61,900	132
持分法適用会社に対する持分相当額	1,233	2,187
その他の包括利益合計	186,102	249,953
四半期包括利益	837,912	794,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	813,164	813,524
少数株主に係る四半期包括利益	24,747	19,053

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第3四半期連結会計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
太平洋製糖㈱	530,666千円	414,666千円
南栄糖業㈱	115,956千円	115,956千円
Fuji Nihon (Thailand) Co.,Ltd (外貨建)		3,200千円 (1百万パーツ)

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	15,223千円	251千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	123,279千円	106,207千円
のれんの償却額	80,991千円	80,991千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 取締役会	普通株式	267,426	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 取締役会	普通株式	268,847	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成 24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,113,539	4,674,745	453,941	15,242,226		15,242,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,966	1,941	832	12,740	12,740	
計	10,123,506	4,676,687	454,773	15,254,967	12,740	15,242,226
セグメント利益	1,066,520	50,191	392,130	1,508,842	534,311	974,531

(注) 1 セグメント利益の調整額534,311千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成 25年 4月 1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,272,027	4,690,885	450,249	15,413,163		15,413,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,582	7,146	832	14,561	14,561	
計	10,278,610	4,698,032	451,082	15,427,725	14,561	15,413,163
セグメント利益	950,235	14,040	392,106	1,356,382	525,402	830,979

(注) 1 セグメント利益の調整額525,402千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	24.41円	20.96円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	654,917	563,511
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	654,917	563,511
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,828	26,880

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月6日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 羽 鳥 良 彰

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 澄 直 史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。